

講義名	商業施設経営論		
担当教員	吉川 祐介		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 4時限	授業形態	講義
履修開始年次	3年生	単位数	2
備考			
主題と概要			
<p>商業施設の歴史の変遷をはじめ、商業施設の概要の把握や商業施設の課題などを学習します。後半は、商店街の栄枯盛衰の歴史の変遷と併せて、まちづくりの視点から商業地再生(活性化)戦略を考察します。机上の空論ではなく、教員が実際に現場で経験した内容を交えて講義を進めます。</p>			
到達目標			
<p>商業施設全般の概況をはじめ、各商業施設の実態と課題などについて理解を深めることを最低限の到達目標とします。さらに、商業地再生についてまちづくりの視点から理解を深めることを最終到達目標とします。また、授業形態について、対面授業での学生の声を反映させながら授業内容を柔軟に調整しながら進めていくため、対面授業を原則とします。</p>			
提出課題			
<p>毎回最後に手書きレポートを提出してもらいます。授業の内容を簡単にまとめたり、指定の内容や感じたことなどを書いてもらいます。自分なりに考えて書いてもらえばよいです。難しいことは求めません。</p>			
課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック			
<p>授業冒頭に行います。</p>			
評価の基準			
<p>出席点:70点 中間試験:10点 期末試験:20点</p>			
履修にあたっての注意・助言他			
<p>日頃から商業施設(お店)の動向、問題点や課題について情報や知識を蓄積しておいてください。また、関心ある記事のみでよいので図書館などで日経新聞等も読んでみてください。</p>			

教科書				
プリント資料及び参考文献				
石原武政・竹村正明編著(2018)『1からの流通論<第2版>』碩学舎				
授業計画				
<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション(授業内容の説明、成績評価他) 2. 日本の商業施設の歴史 3. 百貨店と総合スーパー 4. 食品スーパーとコンビニエンスストア 5. コンビニエンスストア (セブンイレブンを事例として) 6. デイスクラウトストアとSPA(製造小売業) 7. アパレル関連店舗 8. 商店街とショッピングセンター 9. これまでのまとめ(中間試験対策) 10. 中間試験 11. 商店街の変遷 12. 商店街活性化戦略 13. まちづくりと商業施設(有馬温泉を事例として) 14. オンラインストア 15. 今後の商業施設の展望と課題(期末試験対策) <p>一時的に通学が禁止される生徒については、動画配信にて共有を行うのでそちらを利用しレポートの作成を行えば、出席と同様の扱いにする。</p>				
授業形態(アクティブ・ラーニング)				
	ア:PBL(課題解決型学習)		イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	
	ウ:ディスカッション、ディベート		エ:グループワーク	
	オ:プレゼンテーション		カ:実習、フィールドワーク	
	キ:その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)			
準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間				
<p>特に関心のある方には、毎回事前に別途課題を出します。毎回のレポートのなかに記してください。加点対象とします。</p>				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
実務経験の有無及び活用				
備考				
<p>一時的に通学が禁止される生徒については、動画配信にて共有を行うのでそちらを利用しレポートの作成を行えば、出席と同様の扱いにする。</p>				